

「アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習」  
タイムスケジュール

時間	修得目標	講義のポイント	ミニワークテーマ	ミニワークのポイント	
9:15～9:25	導入	研修記録シート目標を確認 アイスブレイク			
9:25～12:15 (170分) (適宜休憩含)	第1節 総合演習の目的	1. 総合演習の目的  2. 自立支援に役立つケアマネジメントの基本的視点の確認			
	第2節 演習プログラム	事例に応じたケアマネジメントについて説明できる  ケアマネジメントプロセスごとの課題について説明できる	1. 演習の進め方  2. 初期面接相談に臨むための準備  3. 解決すべき課題を探るための準備  4. 居宅サービス計画の作成	演習①(演習シート1) 初期相談面接に臨むための準備  演習②(演習シート2) 情報を読み込み、ICF思考による情報整理・分析シートを用いて、解決すべき課題を導き出す (演習シート3) 課題整理総括表を用いて、解決すべき課題の検証 解決すべき課題の発表  演習③(演習シート4) サービス計画書(2)及び(演習シート5) 週間サービス計画表を作成	初期面接相談に臨む準備からモニタリングまでの流れを、事例を通して確認する
12:15～13:15 (60分)	昼食・休憩				
13:15～14:50 (95分)	第2節 演習プログラム	事例を基にサービス担当者会議、モニタリング場面等を模擬的に実施できる	5. サービス担当者会議に関する演習  6. モニタリングに関する演習	演習④ サービス担当者会議を想定した模擬説明  演習⑤(演習シート6) モニタリングの際の事前に収集する情報	
14:50～15:35 (45分)	第3節 ケアマネジメントプロセスの自己評価	講評を受け、今後の自己課題の設定  自己の課題に応じた解決策	1. 総合演習の振り返り  2. 課題解決に向けた取り組み	演習⑥(演習シート7) 自己研鑽の道筋を整理	学習課題の明確化  自己研鑽の動機付け
15:35～15:45 (10分)	振り返り	全体の振り返り ポイントについて			

演習シート 1

ICF領域	初期面接相談に臨むための準備	この事例のアセスメントに必要な基礎知識
健康状態		
心身機能・ 身体構造		
活動		
参加		
環境因子		
個人因子		

演習シートー2

ICF思考による情報整理・分析シート

利用者・家族の意向

利用者・家族の望む暮らし

本人：退院して妻と二人で自宅で暮らしたい。妻の体調が改善して欲しい。いつかは基会所へ通えるようになりたい。  
妻：体調を改善して、以前のように夫と自宅で暮らしたい。

利用者の現在の状況

健康状態（病名、症状、服薬内容、既往歴、主治医、受診行動など）

病名：脳梗塞（77歳）、脳梗塞後遺症（左上下肢麻痺：中程度）、高血圧症  
服薬：抗血栓剤：朝昼夕3回 降圧剤：朝1回  
筋力の低下：両下肢（中程度）、関節の拘縮：左肩・左肘（中程度）  
口腔：義歯が不具合  
身長：172cm、体重：66kg、BMI：23.0

利用者の現在の生活機能

【心身機能・身体の状況】	【活動の状況】	【参加の状況】
<ul style="list-style-type: none"> <li>左上下肢麻痺・両下肢筋力低下</li> <li>左肩・左肘の関節拘縮</li> <li>老眼鏡をかけると見える</li> <li>大声で話しかけないと聞こえない</li> <li>認知能力は問題なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>杖歩行。支えがなければ歩けない</li> <li>病院内では基本動作は自立しているが、歩行や移動は不安定。車いすは自走できる</li> <li>更衣・入浴・排せつに一部介助が必要</li> <li>調理・掃除・金銭管理などのIADLは、入院前から妻が行っている</li> <li>義歯が合わなくなり、うまく噛めない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近所とは挨拶をする程度の付き合い</li> <li>基会所には知人が多かった</li> </ul>

介護支援専門員等による情報整理・分析

健康状態は生活機能にどのような影響を与えているのか？

--

背景因子（環境因子、個人因子）は生活機能にどのような影響を与えているか？

【環境因子】	【個人因子】
(家族) ・主介護者である妻は腰痛・膝関節症があり、夫の身の回りの介護に限界がある ・妻は、介護に関する知識がほとんどなく、本人の残存能力を活かした介護ができない (住居) ・自宅周辺は坂が多く、車いすで一人では外出できない ・自宅では布団で寝起きているため、起き上がりや立ち上がりが困難 ・トイレや浴槽に手すりがないので、入浴や排せつに介助が必要	年齢：77歳 職歴：大手企業サラリーマンとして定年まで勤務 退職後は、事務関係の仕事に65歳まで従事 趣味：囲碁 性格：真面目、温厚な性格 現在の様子：リハビリに意欲的に取り組んでいる。自宅に帰って妻に迷惑を掛けないか心配している。囲碁が好きだが、今の状態でできるか不安に思っている

現状が続くことで予測されるリスクは何か？（防ぐべきこと）

【環境】	【個人】

状況を改善するための促進因子は何か？

【環境】	【個人】

解決すべき課題の明確化と目標の設定

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）      (長期目標)      ↓      (短期目標)

--	--	--

モニタリングに関する演習

サービス事業所	モニタリングの面接のために事前に収集しておくべき情報	その理由